

# たどり いつめきを辿る!

— 21 —

■掲載は旧14市町村の五十音順

## 旧勿来市(下) II 観光・漁業編

# サイクロードを国際施設に 起爆剤に乏しい地区

ある「勿来の関」の名の下、勿来まつり、四十数年前には勿来青年会議所による武者行列なども展開。当時、同会議所の理事長も務めた山下知昭さんは、「地域の活性化の一環として十年間ぐらいやつた。実際の行列は四回ぐらいだつたかな。でも、経済的な問題もあつてね」と、当時

総体的には海、山、川ありの「普通の街」。観光・誘客の面では他に比べると「起爆剤」に乏しいのが勿来地区。

勿来ひと・まち未来会議会長の関根匡さんは、「サイクロードを利用するのも観光、経済の活性化につながる。勿来を発着として宮城までロードを延ばす。国際的な施設にすれば、外国からの選手、客も訪れる。インターナショナルの臨海ロードになりますよ」と、「一石二鳥」への希望を語る。



市内随一の浴客でにぎわいを見せた勿来海水浴場  
=昭和30年、小宅幸一さん提供



港で網の手入れをする漁業  
関係者=小浜漁港

中でも「ドル箱」、勿来海水浴場は、昭和四十（一九六五）年から平成初頭（一九八九）までの入り込み数は毎年百万人を数え、市内随一の人出を誇った。海の家も林立したが、その後は年を追うごとに激減。現在の人出は一万人程度。

勿来ひと・まち未来会議会長の関根匡さんは、「サイクロードを利用するのも観光、経済の活性化につながる。勿来を発着として宮城までロードを延ばす。国際的な施設にすれば、外国からの選手、客も訪れる。インターナショナルの臨海ロードになりますよ」と、「一石二鳥」への希望を語る。

勿来海水浴場や小浜海水浴場などは、誘客、集客に一役買

い、地域経済を潤した。

ところで、市は同地区の将来におけるグランドデザインについて市民との勉強会を開いているが、明確なビジョンはまだない。地域の独自性などを考え、次代を担う若者たちを含め、総ぐるみのアイデアも必要不可欠だろう。

## いわき市

1966（昭和41）年10月1日、5市4町5村が大同合併して誕生。64年3月に常磐・郡山地区が「新産業都市」に認定されるまで、各市町村が協議会を設立して活動したことが契機となった。面積は1,232km<sup>2</sup>で、市としては2003年まで国内最大、県内の約9%を占める。工業出荷額は例年、東北で1、2を争う。人口は令和7年8月1日現在、31万4,038人。1997年に中核市指定



勿来まつりでは、武者行列も行われ、  
にぎわいをみせたものだったが…=平成4年、いわき市提供

港があり、いわき市漁協小浜支所と同勿来支所が存在。十四年前の東日本大震災後は、「海洋の放射能汚染」で出漁がかなわず長期間、「船止め」を強いられている。

小浜支所では、本格操業への「助走」の意味合いから固定式刺し網漁、あわび漁などを行っているが、漁業者らにとつては不満の日々が続く。小浜支所の漁業者は、「後継者不足に加え、週に数回の漁で水揚げをしているが、いつまで続くのか…」と、苦り切っている。

東北の海の玄関・大型施設の建設の湯本、医療施設二基幹を持つ内郷。だが、勿来は？常磐自動車道、国道6号バイパスの南下延伸、そしてJR常磐線。これら「三大路線」が本格的に動けば、勿来は通過するだけの街と懸念する市民も少なくない。

「老若男女が集まり、ゆったり飲食できるファミレスがないのも勿来だけ」勿来地区には、こんな笑うに笑えない話もある。

一方、農・工業とともに地域市民の生活を支える漁業。この地区には東西に二つの漁港田、錦、逢田の三町を中心とし、勿来市が生まれたのは、昭和三十（一九五五）年四月。人口はざつと四万六千人。議論を経て、新庁舎は錦町に設けられ、主とした商圏は植田地区が担った。終戦から十年が過ぎ、三十年

## 合併前夜——旧勿来市

（出典・市資料などから）

一方、農・工業とともに地域市民の生活を支える漁業。この地区には東西に二つの漁

市の南部、勿来地区は今、『岐路』にある。旧五市をみると、官公庁・商業の平、

■次号は旧久之浜町・大久村＝久之浜編

東北の海の玄関・大型施設の建設の湯本、医療施設二基幹を持つ内郷。だが、勿来は？常磐自動車道、国道6号バイパスの南下延伸、そしてJR常磐線。これら「三大路線」が本格的に動けば、勿来は通過するだけの街と懸念する市民も少なくない。

「老若男女が集まり、ゆったり飲食できるファミレスがないのも勿来だけ」勿来地区には、こんな笑うに笑えない話もある。

熱力ロリーの低い炭を有効活用するため、火力発電所が建設され、同三十一年から発電を開始。終戦から十年が過ぎ、三十年

## 工場進出が相次ぐ

代に入ると地域の工業化が一段と進み、常磐炭田から産出する

その後、化学工場や製紙工場が相次いで進出、操業を始めたものだ。

また、同地方全体の産業の活性化を図るために、同三十七年に市域の中央を流れる鮫川の上流と田人村との境に高柴ダムを建設。完成後は、電力をはじめ、工業用水、治水、灌漑用水など、さまざまな分野で現在も利用されている。

2024年3月～  
マルト各店で販売開始！



食の安全・安心。さらに、おいしい  
シーフードランチ

創作かまぼこ

<https://www.kaneman.net/>  
TEL.0246-39-3360-FAX.39-3754

かわまん 本舗

■電話・FAX・インターネットでも注文承ります。  
■本店営業時間AM8:00～PM4:00(年中無休)

■いわき・ら・ら・ミュウ店  
福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1  
TEL&FAX.0246-53-7125

皆様の幸運を招く  
恵比寿様 大黒様



■オンラインショップ  
[www.kaneman.net](http://www.kaneman.net)  
インターネットでのご注文はこちら▶

